

茜町春彦

WEB 絵本

露店商人

金子文子

第6卷

WEB絵本

『露店商人（金子文子）』第6巻

絵・訳：茜町春彦

原作：金子文子

Title: A Street Vendor (Kaneko Fumiko) volume 6

Illustrated and translated by: Akanemachi Haruhiko

Original author: Kaneko Fumiko

創作環境について：

Windows 7 のサポート終了が間近に迫って来たので、Windows10搭載のパソコンに買い換えました。ちょっと奮発してハイエンドマシンを買ってしまいました。表現力はあるけれど動作の重かったArtRageをバージョンアップしてもストレスなく処理できるようになりました。グラフィックボードの御蔭でしょうか。そこで作画手順の変更を思いついたのです。ArtRage5で背景を描いて、Photoshop Elements2020で人物を描くようにしました。第6巻以降、作風が少し異なりますが、御了承ください。



引き上げは大概10時頃だった

それから私は湯島まで1.2、3町をテクテクと歩いて帰るのであるが、家に着くのはほぼ11時過ぎだった。そしてその頃にはもう大抵の場合、家のものは戸を締めて寝ているのだった。

I usually closed my stall at around 10 o'clock. And I went back to Yushima town on foot for 1.2 or 1.3 km. I mostly got home past 11 o'clock.

Around then, the people of the rooming house almost always shut the doors and were sleeping.



私は、商売道具の風呂敷包を片手にぶらさげたまま、片手でそおっと戸をゆすぶって「おかみさん、おかみさん」と呼び起こすのだった。

Holding the cloth (the tool of my trade) in a hand, I softly shook a door with another hand. And saying "Mrs. Mrs.", I always woke the wife of the landlord.



だが、それがあまり幾度も重なると気の毒になって、つい起こす勇気もなく、そのまま神田明神の境内にある藤棚の下で、昼間はサイダアや氷を売っているが夜は店をたたんで帰る見晴らし台の上に、ごろりと横たわって寝るのであった。

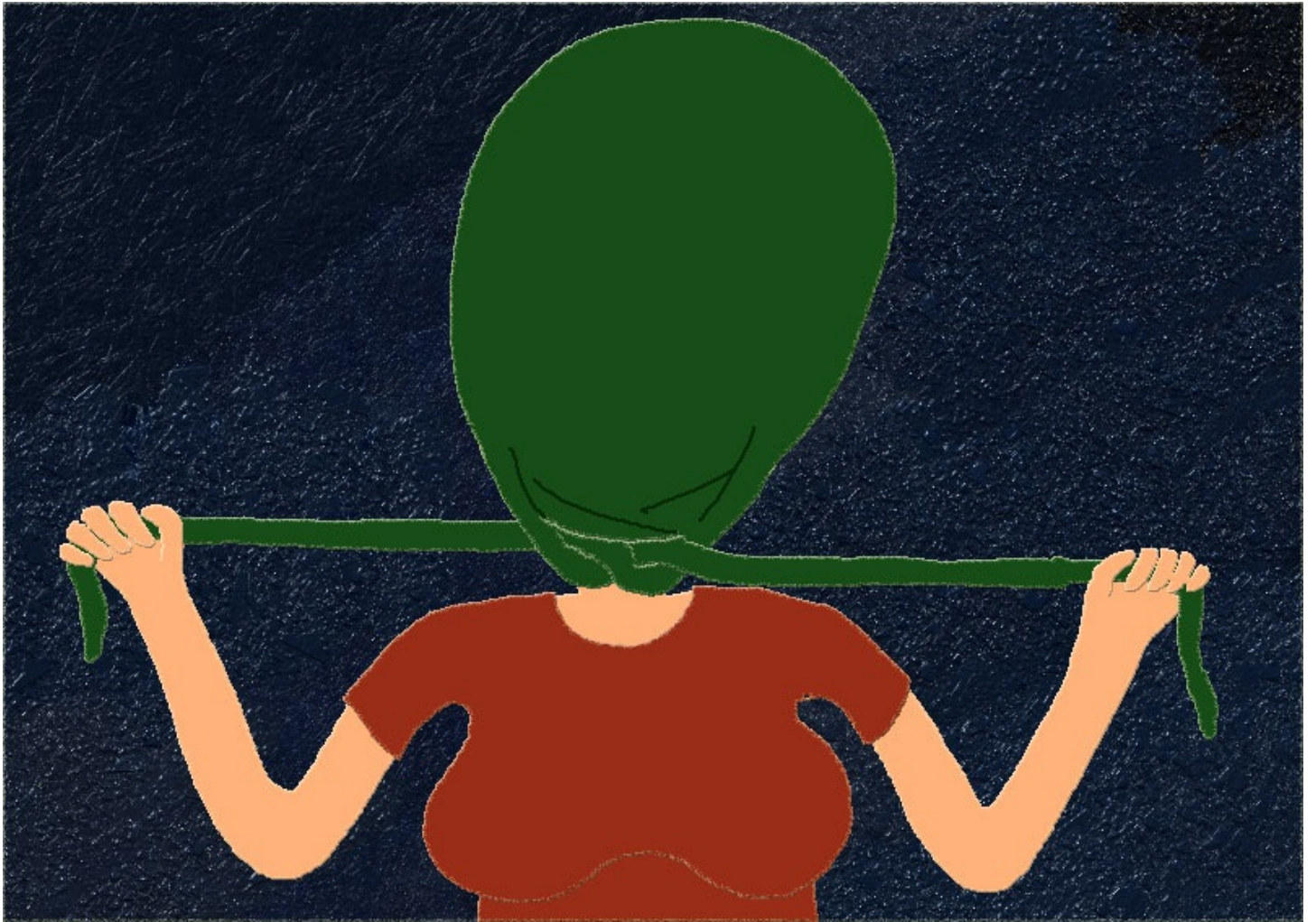
I repeated the same thing many times. And I felt sorry for her. I couldn't gather the courage to wake her up anymore. So, I directly went to the Kandamyojin shrine.

There was a gazebo under the wisteria trellis within the precincts. In daytime, a vendor sold soda and shaved ice at the gazebo. At night, they already removed their stall from the place and went home. I lay down there and got to sleep.



そうした時、夏でも夜は涼しかったが、その代わりに、蚊が猛烈に襲撃して来るので、なかなか容易に眠りつけなかった。

In a case like that, it was cool at night even in summer. But mosquitos awfully bit me. So, I couldn't sleep easily.



やっと見出した工夫は、商品を包んだ風呂敷で頭をおおい、着物のたくし揚げをおろして、ちぢこまって、足をくるんで寝ることであった。

I barely hit on an idea.

I covered my head with the cloth for carrying goods, lowered the tuck of my skirt, curled up into a ball and put my feet into the skirt. And I got to sleep.



疲れているので、多くの場合はぐっすりと眠りついたが、時々夜中に急に降りだした雨にたたかれて起こされたり、おまわりに見つけれられて交番につれて行かれたりなんかをした。

I was tired. So, I almost always slept soundly.

But the rain sometimes fell at night suddenly and woke me up. A policeman once caught me sleeping and took me to a police station.



こうした生活はしかしいつまでも続き得るものではなかった。

ことに4、5日も続けて雨に降られた時には、1文の儲けもなく、3度3度の食事はおろか1日1度の食をさえ取り得ないと言った状態になった。

My living in that situation didn't last long.

Especially when it rained for 4 or 5 days, I couldn't get a single penny. I got into difficulties. No wonder I couldn't eat three meals a day. I couldn't eat only a meal a day.

(つづく)

後書き

参考文献：

- 何が私をこうさせたかー獄中手記（金子文子著 岩波文庫 2017年12月15日第1刷発行）

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 5 アンビエント社
- Photoshop Elements 2020 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行っております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- ピクシブ
- カクヨム
- エブリスタ
- はてなブログ
- 楽天Kobo電子書籍ストア
- Facebook ページ
- YouTube
- BOOTH

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2019年11月16日発行

WEB絵本『露店商人（金子文子）』第6巻

<http://p.booklog.jp/book/128958>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/128958>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：デザインエッグ株式会社